

令和 8 年 9 月 29 日

令和 7 年国勢調査 人口等基本集計 結果の要約

我が国の人口は 1 億 2297 万 3 千人（2025 年（令和 7 年）10 月 1 日現在）
2020 年から 317 万 4 千人減少（2.5%減）、減少幅は拡大

- 2025 年 10 月 1 日現在における我が国の人口は 1 億 2297 万 3 千人。2020 年と比べると、人口は 317 万 4 千人の減少（2020 年から 2.5%減、年平均 0.51%減）
- 総人口を男女別にみると、男性が 5977 万 2 千人、女性が 6320 万人。女性が男性より 342 万 8 千人多く、人口性比は 94.6

図 1 人口及び人口増減率の推移（1920 年～2025 年）

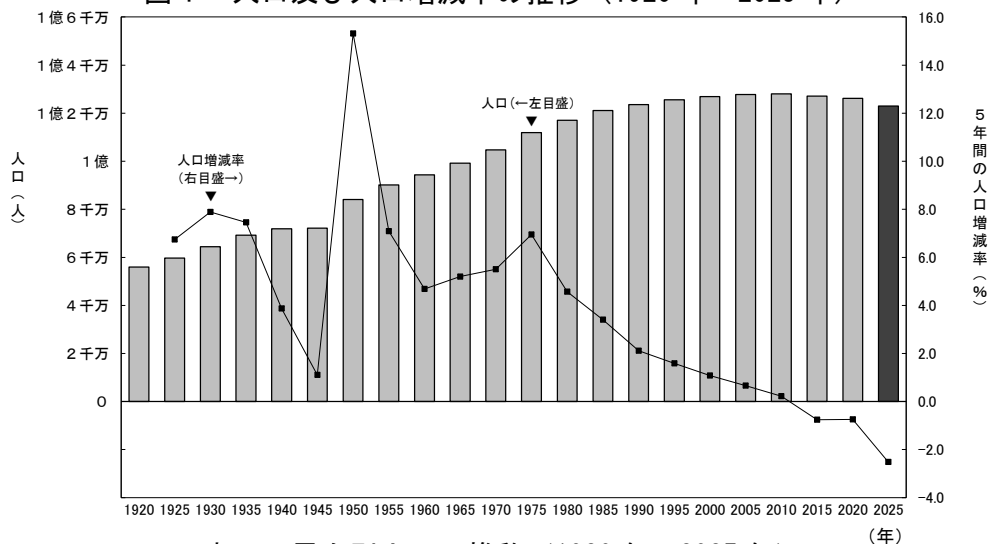


表 1 男女別人口の推移（1920 年～2025 年）

年次	人口(人)			5年間の人口増減		年平均人口増減率(%)	人口性比
	総数	男	女	増減数(人)	増減率(%)		
1920 年(大正 9 年)	55,963,053	28,044,185	27,918,868	—	—	—	100.4
1925 年(14 年)	59,736,822	30,013,109	29,723,713	3,773,769	6.7	1.31	101.0
1930 年(昭和 5 年)	64,450,005	32,390,155	32,059,850	4,713,183	7.9	1.53	101.0
1935 年(10 年)	69,254,148	34,734,133	34,520,015	4,804,143	7.5	1.45	100.6
1940 年(15 年)	71,932,987	35,387,350	36,545,637	2,678,839	3.9	0.76	100.0
1945 年(20 年)	72,147,291	33,894,059	38,104,045	779,765	1.1	0.22	89.0
1950 年(25 年)	84,114,574	41,241,192	42,873,382	11,052,346	15.3	2.89	96.2
1955 年(30 年)	90,076,594	44,242,657	45,833,937	5,962,020	7.1	1.38	96.5
1960 年(35 年)	94,301,623	46,300,445	48,001,178	4,225,029	4.7	0.92	96.5
1965 年(40 年)	99,209,137	48,692,138	50,516,999	4,907,514	5.2	1.02	96.4
1970 年(45 年)	104,665,171	51,369,177	53,295,994	5,456,034	5.5	1.08	96.4
1975 年(50 年)	111,939,643	55,090,673	56,848,970	7,274,472	7.0	1.35	96.9
1980 年(55 年)	117,060,396	57,593,769	59,466,627	5,120,753	4.6	0.90	96.9
1985 年(60 年)	121,048,923	59,497,316	61,551,607	3,988,527	3.4	0.67	96.7
1990 年(平成 2 年)	123,611,167	60,696,724	62,914,443	2,562,244	2.1	0.42	96.5
1995 年(7 年)	125,570,246	61,574,398	63,995,848	1,959,079	1.6	0.31	96.2
2000 年(12 年)	126,925,843	62,110,764	64,815,079	1,355,597	1.1	0.21	95.8
2005 年(17 年)	127,767,994	62,348,977	65,419,017	842,151	0.7	0.13	95.3
2010 年(22 年)	128,057,352	62,327,737	65,729,615	289,358	0.2	0.05	94.8
2015 年(27 年)	127,094,745	61,841,738	65,253,007	-962,607	-0.8	-0.15	94.8
2020 年(令和 2 年)	126,146,099	61,349,581	64,796,518	-948,646	-0.7	-0.15	94.7
2025 年(7 年)	122,972,528	59,772,092	63,200,436	-3,173,571	-2.5	-0.51	94.6

1) 国勢調査による人口から内地外の軍人、軍属等の推計数を差し引いた補正人口

2) 1945年の人口調査による人口に内地の軍人及び外国人の推計数を加えた補正人口。沖縄県を含まない。

3) 沖縄県を除いて算出

東京都を除く 46 道府県で人口減少

- 都道府県別の人口が最も多いのは東京都（1423 万 7 千人）で、全国の 1 割以上（11.6%）を占める。人口上位 8 都府県を合わせると 6357 万 8 千人で、全国の 5 割以上（51.7%）を占める。
- 東京圏（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）の人口は 3697 万 5 千人で、全国の約 3 割（30.1%）を占める。
- 東京都（人口増加率 1.3%）を除く 46 道府県で人口減少

図2 都道府県別人口（2025年）

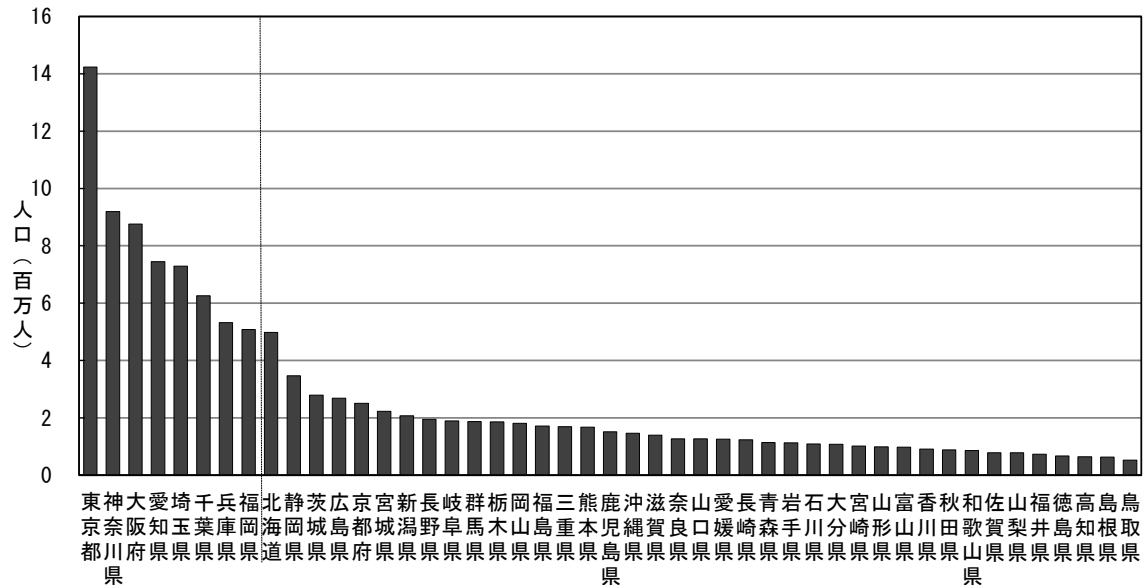
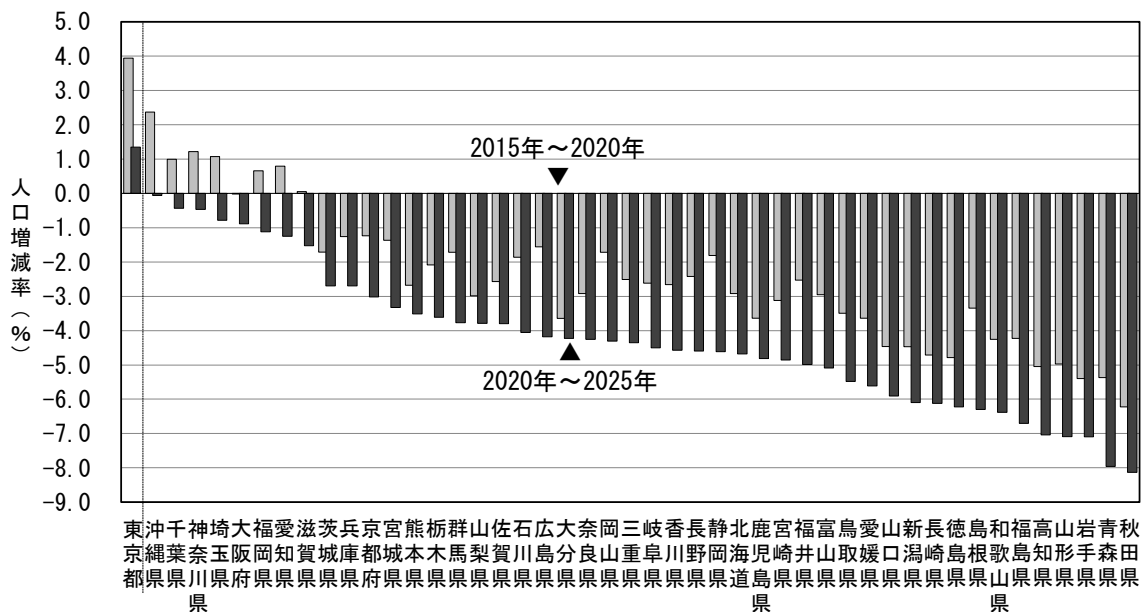


図3 都道府県別人口増減率（2015年～2020年、2020年～2025年）



151 市町村（8.8%）で人口増加、1,568 市町村（91.2%）で減少

- 全国 1,719 市町村のうち、人口が増加したのは 151 市町村で、全体の 8.8%を占めている。人口が減少したのは 1,568 市町村で、全体の 91.2%を占め、そのうち、10%以上人口が減少した市町村は全体の 28.4%を占めている。
- 人口増加数が最も大きいのは東京都特別区部（21 万 1 千人）、次いで大阪府大阪市（5 万 3 千人）、福岡県福岡市（5 万人）など。
- 人口減少数が最も大きいのは福岡県北九州市（3 万 5 千人）、次いで静岡県静岡市（3 万 5 千人）、京都府京都市（3 万 4 千人）など。

図 4 人口増減率階級別市町村数の割合（2010 年～2025 年）

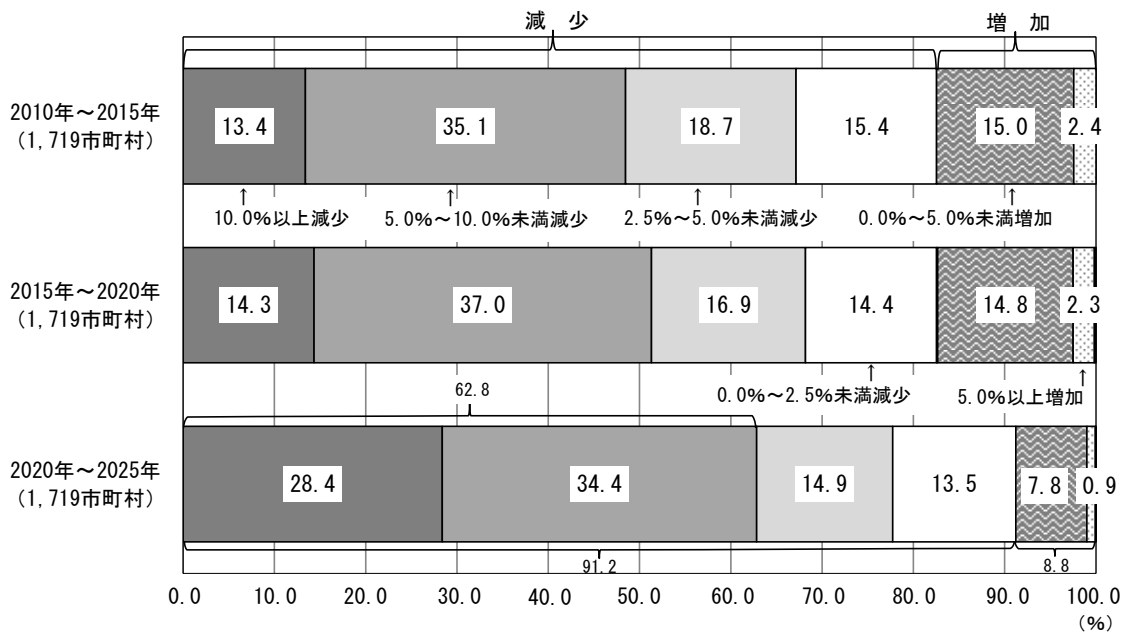


表 2 人口増減数の大きい市町村の人口及び人口増減数（2020 年～2025 年）

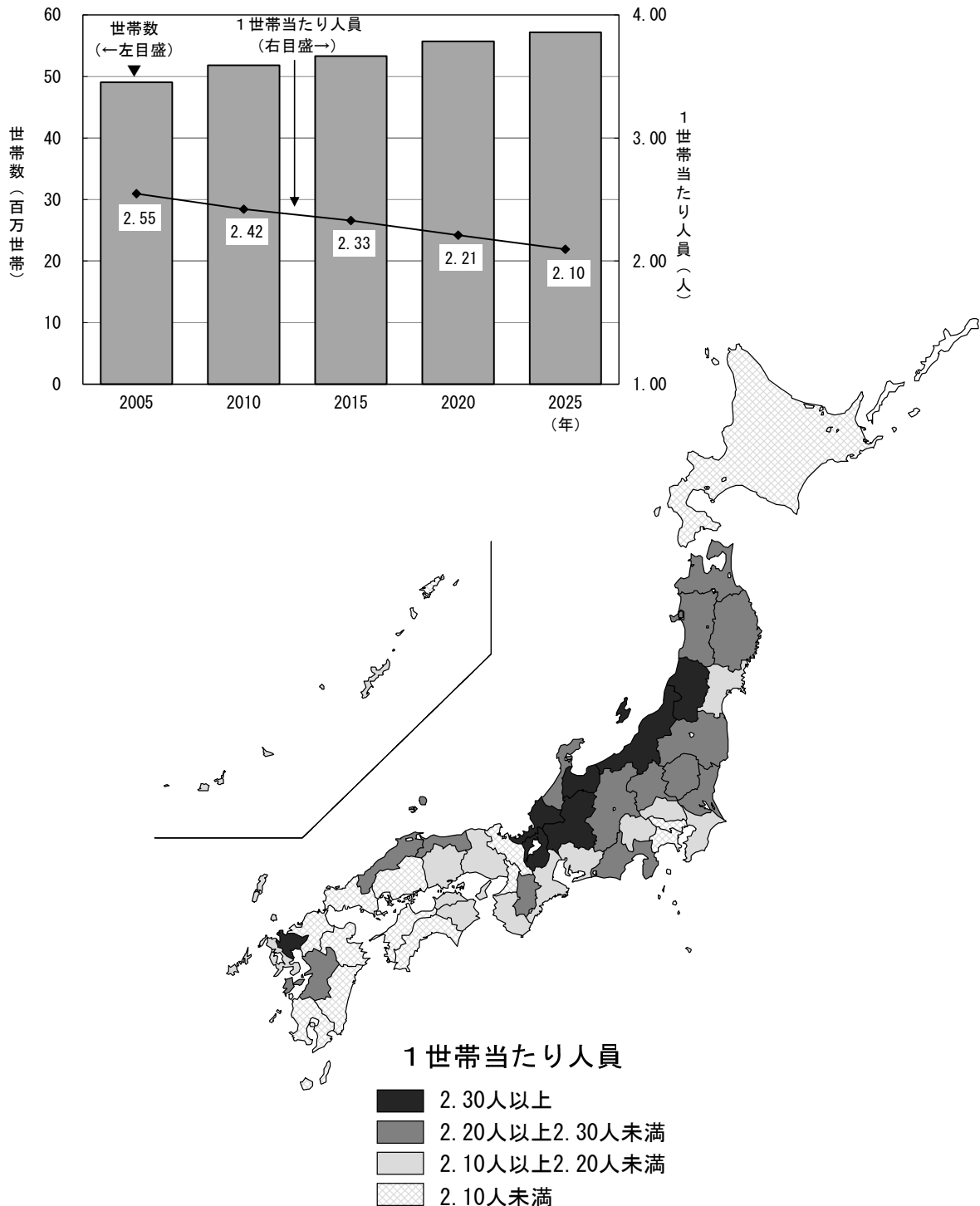
順位	人口増加数の大きい市町村		人口（人） 2025年	増加数（人） 2020年～2025年	人口減少数の大きい市町村		人口（人） 2025年	減少数（人） 2020年～2025年
	市町村名	都道府県			市町村名	都道府県		
1	特別区部	（東京都）	9,944,109	210,833	北九州市	（福岡県）	903,592	-35,437
2	大阪市	（大阪府）	2,805,371	52,959	静岡市	（静岡県）	658,781	-34,608
3	福岡市	（福岡県）	1,662,793	50,401	京都市	（京都府）	1,430,062	-33,661
4	つくば市	（茨城県）	268,832	27,176	神戸市	（兵庫県）	1,494,997	-30,155
5	川崎市	（神奈川県）	1,559,571	21,309	新潟市	（新潟県）	759,139	-30,136
6	さいたま市	（埼玉県）	1,344,865	20,840	広島市	（広島県）	1,171,915	-28,839
7	千葉市	（千葉県）	994,846	19,895	いわき市	（福島県）	306,165	-26,766
8	流山市	（千葉県）	215,086	15,237	長崎市	（長崎県）	382,393	-26,725
9	名古屋市	（愛知県）	2,345,186	13,010	横浜市	（神奈川県）	3,750,952	-26,539
10	吹田市	（大阪府）	394,516	8,949	浜松市	（静岡県）	765,254	-25,464
11	柏市	（千葉県）	435,302	8,834	旭川市	（北海道）	305,430	-23,876
12	船橋市	（千葉県）	651,663	8,756	堺市	（大阪府）	802,648	-23,513
13	印西市	（千葉県）	110,339	7,730	横須賀市	（神奈川県）	364,720	-23,358
14	大和市	（神奈川県）	246,152	6,983	呉市	（広島県）	191,584	-23,008
15	藤沢市	（神奈川県）	443,726	6,821	函館市	（北海道）	230,309	-20,775
16	朝霞市	（埼玉県）	147,233	6,150	福山市	（広島県）	440,422	-20,508
17	立川市	（東京都）	189,304	5,723	青森市	（青森県）	255,953	-19,239
18	八千代市	（千葉県）	204,904	5,406	八戸市	（青森県）	205,130	-18,285
19	海老名市	（神奈川県）	141,588	5,072	高知市	（高知県）	309,085	-17,460
20	草津市	（滋賀県）	148,660	4,747	下関市	（山口県）	237,611	-17,440

一般世帯数は 5718 万 2 千世帯

一般世帯の 1 世帯当たり人員は 2.10 人で引き続き減少

- 一般世帯数は 5718 万 2 千世帯。2020 年と比べると 147 万 7 千世帯の増加
- 一般世帯人員は 1 億 1983 万 7 千人で、1 世帯当たり人員は 2.10 人となり、引き続き減少
- 都道府県別の一般世帯の 1 世帯当たり人員は、山形県が 2.41 人と最も多い。一方、東京都が 1.85 人と最も少なく、全ての都道府県で減少

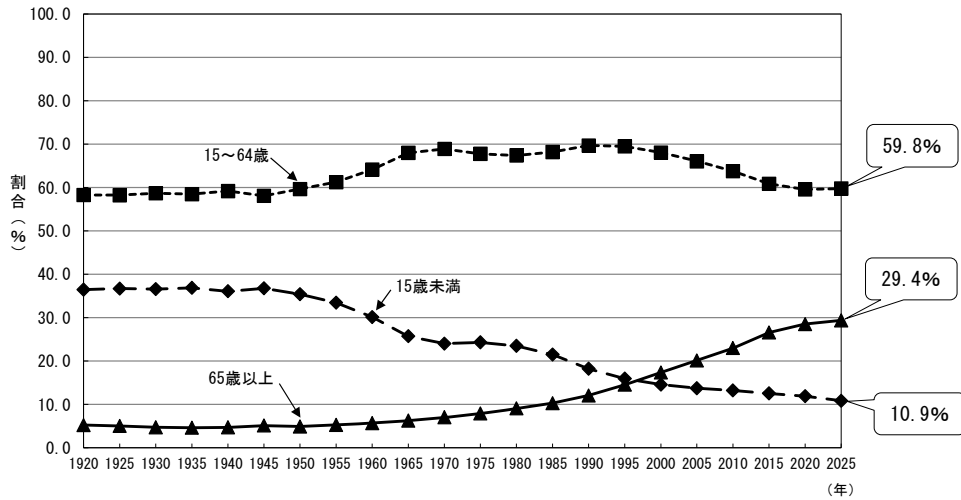
図 5 一般世帯数及び一般世帯の 1 世帯当たり人員の推移（2005 年～2025 年）並びに
都道府県別一般世帯の 1 世帯当たり人員（2025 年）



総人口に占める 65 歳以上人口の割合は 28.5%から 29.4%に上昇

- 15 歳未満人口は 1334 万 9 千人（総人口の 10.9%）、15～64 歳人口は 7348 万 1 千人（59.8%）、65 歳以上人口は 3614 万 2 千人（29.4%）

図 6 年齢（3 区分）別人口の割合の推移（1920 年～2025 年）

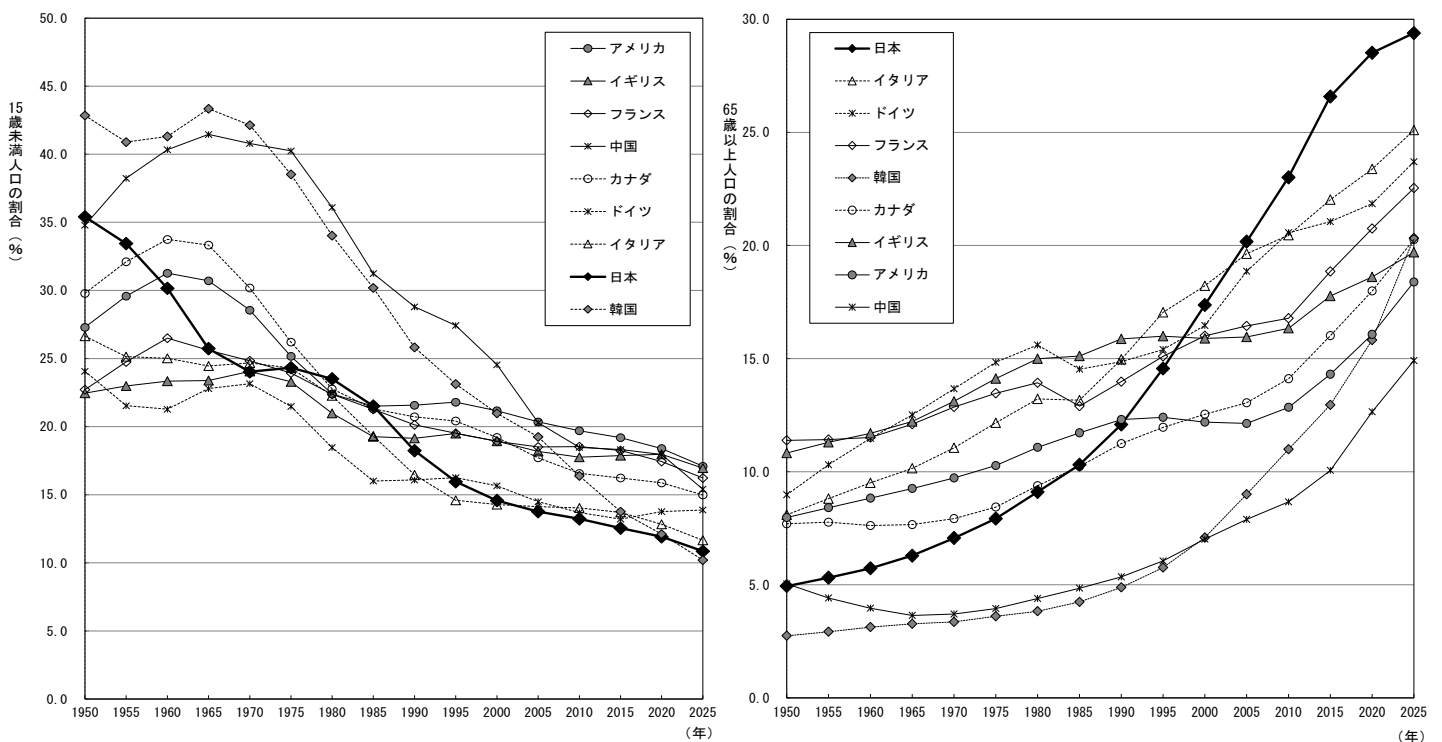


注) 2015 年以降は不詳補完値による。

諸外国の中で、15 歳未満人口の割合は 2 番目に低く、65 歳以上人口の割合は最も高い

- 総人口に占める 15 歳未満人口の割合を諸外国 (G7、中国及び韓国) と比べると、我が国 (10.9%) は韓国 (10.2%) に次いで 2 番目に低くなっている。
- 総人口に占める 65 歳以上人口の割合を諸外国と比べると、我が国 (29.4%) は最も高くなっている。

図 7 15 歳未満人口及び 65 歳以上人口の割合の推移—諸外国との比較（1950 年～2025 年）



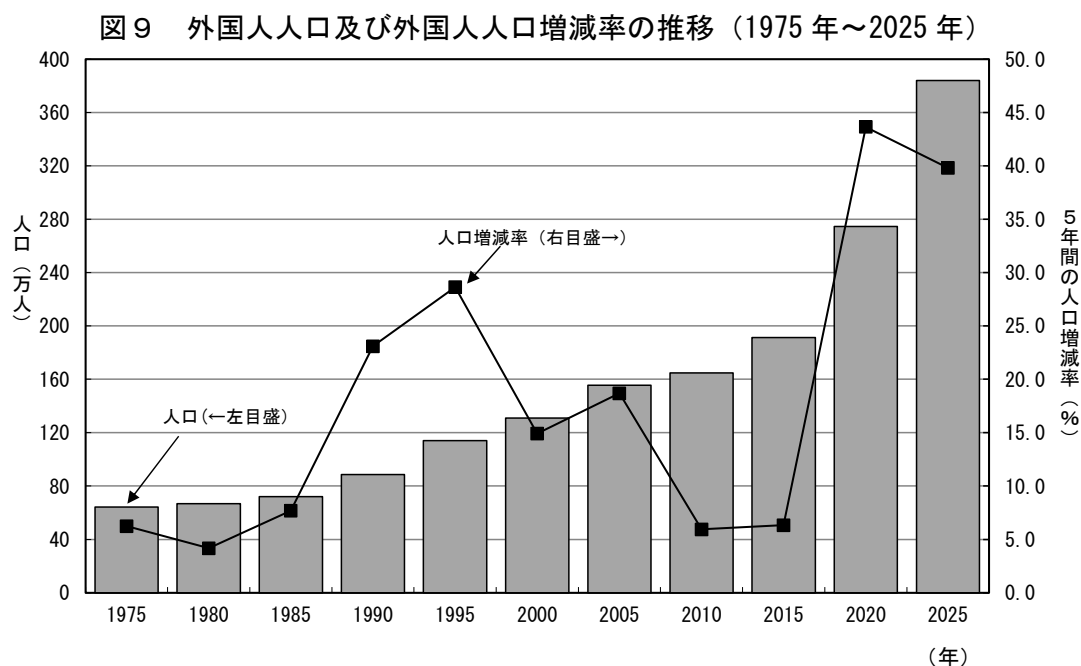
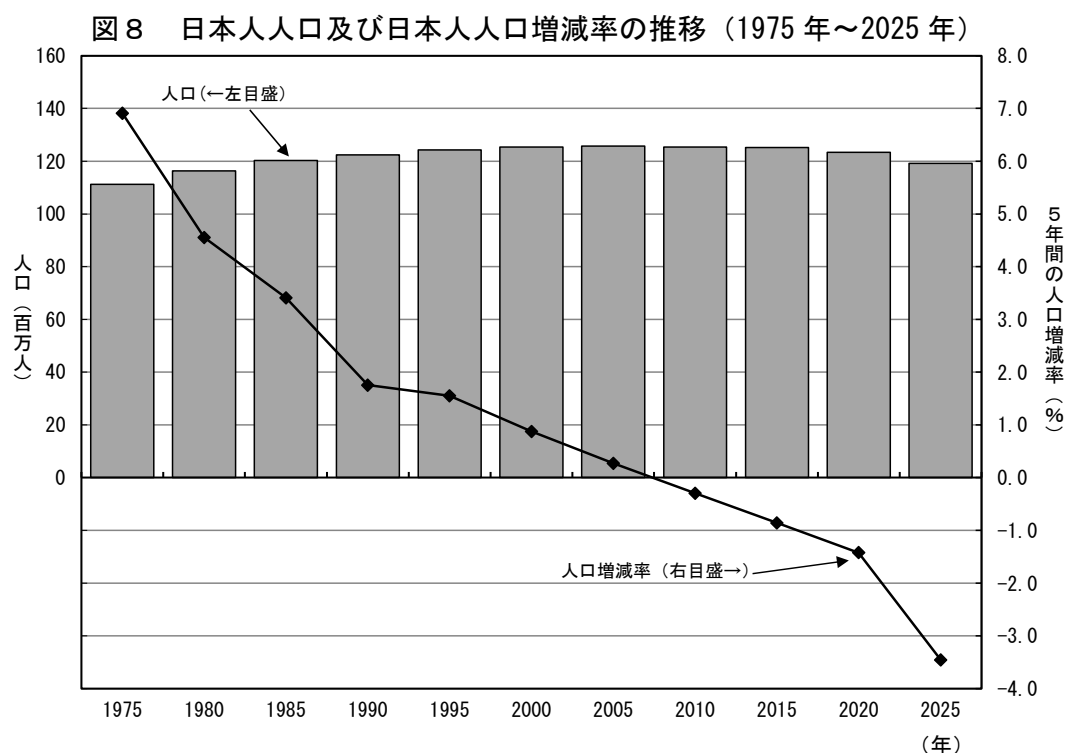
資料: United Nations, "The 2024 Revision of World Population Prospects"

2020 年以前は年央推計値 (Estimate)、2025 年は年央中位推計値 (Projection)。ただし、日本は国勢調査の結果による。

注) 日本の 2015 年以降は不詳補完値による。

日本人人口は1億1913万2千人（2020年から3.5%減、年平均0.70%減）
 外国人人口は384万人（2020年から39.8%増、年平均6.93%増）

- 日本人人口は1億1913万2千人（総人口の96.9%）。2020年と比べると、426万7千人の減少（2020年から3.5%減、年平均0.70%減）
- 外国人人口は384万人（総人口の3.1%）。2020年と比べると、109万4千人の増加（2020年から39.8%増、年平均6.93%増）



問合せ先 総務省統計局 統計調査部 国勢統計課 審査発表係
 TEL：03-5273-1156（直通） Eメール：c-shinsa@soumu.go.jp